

教 育
— 2015年度 —

1. ガーデニング入門

2015年度前期（教養教育科目）・選択・2単位

履修者：69名

担当教員：後藤，吉田，嶋，福田

実施場所：岡山農場 他

回数	月日	内容	講義，実習	担当教員
1	4月10日	ガイダンス	講義	全員
2	4月17日	花壇用植物の紹介	講義，見学	後藤
3	4月24日	種まきと挿し木 夏野菜の紹介と播種	講義	後藤
4	5月1日	花壇用培養土の説明	講義，見学	後藤
5	5月15日	接ぎ木と繁殖	講義	後藤
6	5月22日	ガーデニングへの利用からみた果樹類の特徴	講義	福田
7	5月29日	ガーデニングに適した野菜の紹介	講義，見学	吉田
8	6月5日	実を实らすための栽培技術	講義，見学	福田
9	6月12日	野菜の管理法	講義，見学	吉田
10	6月19日	果樹における翌年の実りに向けた取り組み	講義	福田
11	6月26日	灌水と施肥管理	講義	吉田
12	7月3日	日本庭園の歴史，様式と構成要素	講義	嶋
13	7月10日	造園用樹木の特性と識別	講義，見学	嶋
14	7月17日	造園用樹木の取り扱いと植栽	講義	嶋
15	7月24日	生け花とアレンジメント，まとめ	講義，実習	後藤

本年度より講義主体の科目内容に変更し，受講者数の制限を緩和した。一部の時間帯にセンター圃場

で栽培中の野菜・果樹，キャンパス内の樹木の見学を取り入れた。

2. 1年次総合農業科学入門

2015年度前期（専門基礎科目）・必修・2単位

履修者：127名

担当教員：齊藤

実施場所：岡山農場1号水田

6/8，6/15の2日間，同演習を履修した学生を2グループに分け，山陽圏フィールド科学センターの紹介および田植え体験実習を岡山農場1号水

田で実施した。もう1つのグループは津高牧場（舟橋・揖斐）の見学を行った。

3. 1年次農場体験実習（中四国連携フィールド演習：晴れの国岡山農場体験実習）

2015年度前期・夏期集中（宿泊）・専門基礎科目・選択・1単位

（農学部生以外の学生にとっては教養教育科目となる）

履修者：農場体験7名（岡山大1名，歯2名，環4名），晴れの国岡山19名（鳥大2名，広大9名，山大4名，愛大2名，香大2名）

実習担当教員：齊藤，吉田，舟橋，福田

技術職員：谷岡・宮地・近藤・山本・酒井・野久保・青山

実施場所：岡山農場・津高牧場

9月28日（月）		9月29日（火）		9月30日（水）	
時刻	実習項目	時刻	実習項目	時刻	実習項目
10:30-12:00	センター紹介	6:45-7:30	牧場管理	6:45-7:30	牧場管理
12:00-13:00	昼食	7:30-8:30	朝食	7:30-8:30	朝食
13:00-15:00	稲刈り	9:00-9:30	移動（岡山農場）	9:00-11:00	草地の管理
15:15-15:45	移動（津高牧場）	9:30-12:00	果樹の管理	11:30-12:00	移動（岡山農場）
16:00-17:00	牛舎実習	12:00-13:00	昼食	12:00-13:00	昼食
18:30-19:30	夕食	13:00-15:00	収穫実習	13:00-15:00	野菜の管理
		15:15-15:45	移動（津高牧場）	15:00-15:30	レポート作成
		16:00-17:00	牛舎実習	16:00	解散
		18:30-19:30	夕食		

実施時期がコンソーシアム岡山構成大学の後期開始と重なり、履修者は初めて0名となり、岡山大学3学部合計7名であった。中四国フィールド演習科目として履修の募集を行ったが、52名の応募があり、履修志望理由により、20名を選抜した（1名病

欠）。稲作・野菜・果樹・畜産と様々な農業の側面にふれることができ、他大学の学生と交流ができたこと、受講生の評価も高かった。宿泊で生活を共にし、学生・教員間の親睦が深まった。

4. 2年次フィールド基礎実習

2015年度前期（専門基礎科目）・選択必修・2単位

履修者：50名

実習担当教員：齊藤 他

技術職員：山奥 他

実施場所：岡山農場 他

履修者を第1班と第2班に二分して、以下の内容で実習を行った。

第1班

回	月日	実習項目	担当教員・技術職員
1	4月14日	<u>オリエンテーション・キクの挿し芽と定植</u>	齊藤, 福田, 後藤, 野菜・花き
2	4月21日	果菜類の定植（スイカ, ナス）	吉田, 野菜・花き
*3	4月28日	草地管理	舟橋, 畜産（津高）
4	5月12日	<u>モモの摘果</u> <u>果菜類の管理</u>	福田, 果樹 吉田, 野菜・花き
5	5月19日	水稻育苗	齊藤, 水田
6	5月26日	サツマイモの定植 タマネギの収穫	安場, 野菜・花き 田中, 野菜・花き（吉田）
7	6月2日	<u>果菜類の管理</u> <u>イモ類の管理</u>	吉田, 野菜・花き 齊藤, 野菜・花き
8	6月9日	<u>果実の植物ホルモン処理</u>	森永, 果樹

		バレイショの収穫	齊藤, 野菜・花き
* 9	6月16日	花き栽培施設の見学	後藤
10	6月23日	ブドウの摘粒	平野, 果樹
* 11	6月30日	和牛の管理	舟橋, 畜産 (津高)
* 12	7月7日	水田管理	齊藤, 水田 (八浜)
13	7月14日	ネギの定植	吉田, 野菜・花き
		カキの摘果	平野, 果樹
14	7月21日	農業用ロボットによる省力作業	門田
		モモの接ぎ木	福田, 果樹
15	7月28日	モモの収穫	平野, 果樹
		スイカの収穫	吉田, 野菜・花き
		アンケート, 片づけ他	齊藤
予備	8月4日	予備日	

下線の実習は, 1班と2班の合同実習である。*太字の日程は学バスにより移動。

第2班

回	月日	実習項目	担当教員・技術職員
1	4月14日	オリエンテーション・キクの挿し芽と定植	齊藤, 福田, 後藤, 野菜・花き
* 2	4月21日	草地管理	舟橋, 畜産 (津高)
3	4月28日	果菜類の定植・管理 (ピーマン・カボチャ)	吉田, 野菜・花き
4	5月12日	モモの摘果	福田, 果樹
		果菜類の管理	吉田, 野菜・花き
5	5月19日	サツマイモの定植	安場, 野菜・花き
6	5月26日	水稻育苗	齊藤, 水田
7	6月2日	果菜類の管理	吉田, 野菜・花き
		イモ類の管理	齊藤, 野菜・花き
8	6月9日	果実の植物ホルモン処理	森永, 果樹
		タマネギの収穫	吉田, 野菜・花き
9	6月16日	農業用ロボットによる省力作業	門田
		ブドウの摘粒	平野, 果樹
* 10	6月23日	和牛の管理	舟橋, 畜産 (津高)
11	6月30日	雑草の管理	齊藤, 野菜・花き
		果菜類の管理	吉田, 野菜・花き
12	7月7日	カキの摘果	平野, 果樹
* 13	7月14日	試験場の見学	福田, 果樹
* 14	7月21日	水田管理	齊藤, 水田 (八浜)
15	7月28日	モモの収穫	平野, 果樹
		スイカの収穫	吉田, 野菜・花き
		アンケート, 片づけ他	齊藤
予備	8月4日	予備日	

下線の実習は, 1班と2班の合同実習である。*太字の日程は学バスにより移動。

5. 農家体験実習

2015年度前期集中（専門科目）・選択・全学開放科目・2単位

履修者：11名

担当教員：吉田，福田

農家体験実習については，2015年度は岡山市東区西隆寺の石原果樹園，北区御津吉尾の（有）スコレーおよび蒜山高原のトマト，有機野菜栽培農家に委託して4泊5日の宿泊実習を実施した。農学部2年生10名，MPコース2年生1名の合計11名が履修した。

開講にあたっては，学生と受入先農家の日程等に関する調整を行い，夏季休暇中の8月上旬から9月下旬にかけて，受入先の農家に泊まり込んで実習に励んだ。受講生は受入先農家で野菜・果樹の栽培管理だけでなく，農家の直営販売所などでの販売や地

域の直売所への集荷にもかかわり，学内の授業科目では得られない貴重な経験を積むことが出来た。なお，学生には連絡ノートを配布し，毎朝健康状態をチェック出来るように配慮し，実習中における作業内容や感想を記録するように指導した。連絡ノートの記録から受講生が充実した体験を重ねていたことがうかがえた。これまで同様に，受け入れ農家の全面的な協力により，事故なく無事に実習を終えることができた。農家の学生に対する評価は高く，次年度も引き続き受け入れていただける見込みである。

6. 2年次フィールド実習Ⅰ・継続栽培（イチゴ・ハウレンソウ）

2015年度後期（専門科目）・選択・2単位

履修者：20名

担当教員：吉田 他

技術職員：野久保 他

継続栽培担当教員：吉田

実施場所：岡山農場 他

回	月日	実習項目	担当者
1	10. 5	オリエンテーション，秋冬野菜の播種	吉田，齊藤・宮地，谷岡
2	10.13	水稲収穫	齊藤・多田，宮地，谷岡
3	10.19	畜産関連施設の見学	舟橋
4	10.26	果菜類の管理 カキの収穫・脱渋	吉田・宮地，谷岡 福田・近藤，山本
5	11. 2	サトイモの収穫	齊藤・谷岡
6	11. 9	タマネギの定植	田中・宮地
7	11.16	水稲収量調査 キクの芽かき	齊藤 後藤・宮地
8	11.26	農業用機械の構造と操作	難波
9	11.30	秋バレイショの収穫	齊藤・谷岡，宮地
10	12. 7	和牛の管理	舟橋・野久保，青山
11	12.14	漬け物加工	吉田・宮地，谷岡
12	12.21	草地の管理	舟橋・野久保，青山
13	1.18	ブドウの剪定	森永・近藤，山本
14	1.25	カキ，モモの剪定	福田・近藤，山本
15	2. 1	果菜類の播種，アンケート，片づけ	吉田・宮地

専門分野ごとの個別実習に加えて、栽培実習としてイチゴの栽培管理を継続して実施するとともに、学生に3㎡程度の区画を割り当ててダイコン、コマツナ、カブ、ホウレンソウなど秋野菜の栽培を行わ

せた。受講希望者が昨年度ほど多数ではなく、前向きに実習に取り組む学生ばかりで、効果的な実習を行うことができた。

7. 3年次フィールド実習Ⅱ

2015年度前期（専門科目）・選択・2単位

履修者：20名

担当教員：齊藤・吉田・福田

技術職員：近藤 他

実施場所：岡山農場 他

回	月日	実習項目（前半／後半）	担当教員
1	4.13	オリエンテーション スイカ接ぎ木／ビワの摘果	齊藤・吉田・福田 吉田／福田
2	4.20	エダマメ他の播種／施設野菜栽培管理	齊藤／福田
3	4.27	ブドウの芽カキ／苗代準備・種子予措	福田／齊藤
4	5. 7	スイカ定植／モモの予備摘果	吉田／福田
5	5.11	水稲播種・乾田直播（八浜農場）	齊藤
6	5.18	ブドウの枝管理／施設果菜栽培管理	福田／吉田
7	5.25	ナス・スイカ整枝／モモの本摘果・袋掛け	吉田／福田
8	6. 1	バレイショ収穫／スイカ整枝・敷き藁	齊藤／吉田
9	6. 8	ブドウのGA処理／水稲代掻き・機械移植	福田／齊藤
10	6.15	ナス・スイカ整枝／ブドウの摘粒	吉田／福田
11	6.22	水田管理／ウリ類整枝	齊藤／吉田
12	6.29	果樹の薬剤散布／雑草防除	福田／齊藤
13	7. 6	果菜の収穫／ブドウの袋掛け・カキの摘果	吉田／福田
14	7.13	水稲生育調査／イチゴ挿し苗	齊藤／吉田
15	7.27	収穫祭（エダマメ・スイカ他） アンケート・片づけ	齊藤・吉田・福田

今年度も様々な作物の期間を通じた継続栽培を中心とし、野菜やブドウを、それぞれ栽培できるように応用的技術を学ぶ実習スケジュールを組んだ。受

講生が20名であったので、それぞれの栽培への関わり方がより濃いものとなった。

8. 3年次牧場実習

2015年度前期集中（専門科目）・選択・単位互換実習・2単位

履修者：29名（岡山大学9，島根大学0，鳥取大学5，その他15）

担当教員：舟橋

技術職員：野久保，青山

実施場所：津高牧場

回	月 日	実 習 項 目	担 当 者
1	8.31		
	12:00 - 12:30	開講式	舟橋
	12:30 - 13:15	バス移動	
	13:15 - 14:00	諸注意・見学	舟橋
	14:00 - 15:15	畜舎における実習方法	舟橋・野久保・青山
	15:15 - 16:45	畜舎実習	野久保・青山
	17:00 - 18:15	和牛の遺伝性疾患	国枝
2	9. 1		
	8:30 - 9:00	畜舎実習	野久保・青山
	9:00 - 11:30	直腸検査の基礎と応用	奥田，木村，山本
	13:00 - 15:30	人工授精と受精卵移植の基礎	舟橋・若井
	15:30 - 16:30	畜舎実習	野久保・青山
	17:00 - 18:15	和牛の改良	揖斐
3	9. 2		
	8:30 - 9:00	畜舎実習	野久保・青山
	9:00 - 11:30	草地の管理	舟橋
	13:00 - 15:30	飼料の貯蔵と利用	西野・鶴田
	15:30 - 16:30	畜舎実習	野久保・青山
	17:00 - 18:15	21世紀の畜産経営	横溝
4	9. 3		
	8:30 - 9:00	畜舎実習	野久保・青山
	9:00 - 11:30	和牛の審査	櫻井（高知県畜産会）
	13:00 - 15:30	和牛の衛生管理	齋藤・畑生
	15:30 - 16:30	畜舎実習	野久保・青山
5	9. 4		
	8:30 - 9:00	畜舎実習	野久保・青山
	9:00 - 11:30	乳の加工と検査法	森田，荒川
	13:00 - 14:30	実習レポート・アンケート	舟橋
	14:30 - 15:30	清掃・帰り支度	
	15:30	閉講式，バス移動後解散	

今年度の牧場実習は，岡山大学をはじめ中四国の国公立9大学からの参加者を合わせて29名の人数で実施した。実習終了後の実習に対する感想文には，実習に対する満足度が高かった。本年度は，本学

からの受講生が他の実習と重なったため，若干参加人数が少なかったが，牧場での学習および生活を通して，他大学の学生間で親睦も深めることができた。

9. 共同利用実習

今年度も、中国学園大学およびくらしき作陽大学の食品系学部の学生を対象にフィールド科学センターで実際に作物に触れるための共同利用実習を8月に企画した。残念ながら、中国学園大学については台風の影響で休講となった授業の補講日と重なったため、今年度は中止となった。くらしき作陽大については8月5、6日に実施した。大規模な農地で、

野菜や果樹を中心に、実際に栽培しているところを見ることができ、また生産物試食を行うことで、栽培の環境や技術の重要性を伝えることができた。

講義 肥料について・モモの特徴

実習 野菜の播種、ブドウの枝管理
果実の食味試験

10. 岡山大学教育学部附属特別支援学校「高等部農耕班 校外作業学習」

履修者：11名 教育学部附属特別支援学校高等部1～3年生 農耕班

担当教員：吉田・後藤・安場・田中・福田

技術職員：宮地・谷岡

実施場所：岡山農場 他

実施日（概ね10時～11時10分）	学習作業内容	出席者
5月8日(金)	ペチュニア鉢上げ	1～3年生11名, 教員4名
6月5日(金)	ペチュニア定植	1～3年生11名, 教員5名
6月19日(金)	ブドウ整枝, 除草	1～3年生10名, 教員4名
10月6日(火)	パンジー鉢上げ	1～3年生11名, 教員3名
11月10日(火)	パンジー定植	1～3年生11名, 教員4名
12月1日(火)	サツマイモ収穫	1～3年生11名, 教員4名

今年度も引き続き、本部棟南側駐車場の花壇と玄関脇花壇の整備を中心に校外作業学習を実施した。苗の鉢上げ、定植、除草などの作業を行った。特別

支援学校教員の指導に加えて農学部学生・大学院生の協力もあり、様々な作業を通じて効果的な学習を実施することができた。